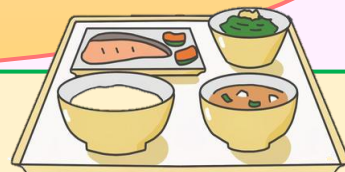


令和7年度復職支援技術研修 報告

【安全な食事介助】

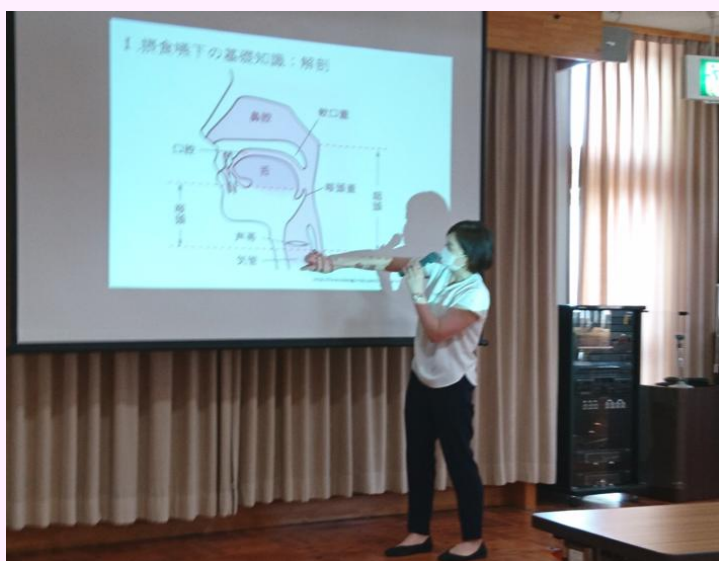


日時：令和7年7月24日（木）13：00～15：00

講師：摂食嚥下障害看護認定看護師 高橋 照美氏

場所：能代商工会議所 参加者：3名

感想：・ 根拠から導きだした介助、姿勢などが分かり、とても役立つ。エネルギー食の進化が大きく、適した物を見つけられたら利用者にとって大きく役立つと考えます。
・ 嚥下機能の低下は最近多くの科で見られ、重要視されていることが分かりました。嚥下の訓練やテストなど、実生活でも使えるような事を教えてもらい勉強になりました。
・ 臨床で具体的な助けになる内容でよかった。とろみのお茶の試飲ができて良かった。



安全な食事介助には、摂食嚥下の基礎知識が大切です

安全な食事介助には、椅子・車椅子・ベッドでの姿勢が大事。足底をしっかり安定させることがポイント。嚥下訓練の一つにパタカラ体操があることを知りました。大きく口を開いて声をだすことは、老化防止にもなることを学びました



嚥下機能評価の一番手軽なスクリーニング方法で反復唾液嚥下テストをやってみました。

30秒間で何回嚥下できるかのテストで、甲状軟骨が指を何回乗り越えたかカウントしてみたら3回以上が正常で、私は4回で、ギリギリセーフでした。



冷たいお茶にとろみをつけて濃度の違いを感じながら少しずつ試飲しました。冷たいせいか飲みやすかったのですが、水を飲むようなすっきり感はありませんでした。